

秋田県文化財調査報告書第491集

遺跡詳細分布調査報告書

2014・3

秋田県教育委員会

遺跡詳細分布調査報告書

2014・3

秋田県教育委員会

序

本県には、これまでに発見された約 5,000 か所の遺跡をはじめとして、先人の遺産である埋蔵文化財が豊富に残されています。これらの埋蔵文化財は、地域の歴史や伝統を理解し、未来を展望した彩り豊かな文化を創造していくうえで、欠くことのできないものであります。

一方、県内道路網や河川の整備など、豊かで快適な生活を築くための地域開発が大規模に行われ、埋蔵文化財保護との調和を図ることが急務となっております。遺跡分布調査と遺跡確認調査はそのための基礎資料となるものです。

本報告書は、平成25年度に国庫補助事業として実施した、主要地方道建設事業、河川改修事業などに係る遺跡分布調査と遺跡確認調査の結果をまとめたものです。

報告書をまとめるにあたり、調査に協力いただきました関係各機関に感謝申し上げるとともに、今後とも埋蔵文化財の保護につきまして御理解と御協力をいただけますようお願い申し上げます。

平成26年3月

秋田県教育委員会

教育長 米 田 進

例 言

- 1 本報告書は、平成25年度に秋田県教育委員会が国庫補助金を得て実施した、遺跡分布調査と遺跡確認調査の報告書である。なお、本書収録の報告は平成25年4月から12月までの実施分であり、平成26年1月以降の実施分については来年度に報告する予定である。また、平成25年1月から3月に実施した遺跡分布調査の結果報告を平成24年度補足分として掲載した。
- 2 本報告書に収録の遺跡分布調査、遺跡確認調査は、秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室、秋田県埋蔵文化財センターの職員が担当した。報告は、遺跡分布調査については秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室が、遺跡確認調査については各調査担当者がそれぞれ作成したものを秋田県埋蔵文化財センターが編集した。
- 3 本報告書に掲載した地図は、国土地理院発行の1/25,000地形図(電子地図含む)、1/50,000地形図ならびに国土交通省・秋田県建設部が作成した平面図を複製した。なお、第3章第1節の地形図には方位記号を付けていないが、全て上が世界測地系第X系座標北を示している。

25,000分の1地形図

「白沢(7頁)昭和62年6月30日」、「大館(7頁)平成15年2月1日」、「毛馬内(14頁)平成11年4月1日」、「鷹巣西部(8・15・38頁)平成10年7月18日」、「扇田(16頁)平成14年5月1日」、「五城目(31頁)平成19年8月1日」、「船越(6頁)平成19年10月1日」、「土崎(14頁)平成18年12月1日」、「羽川(6頁)平成18年12月1日」、「稲沢(8頁)平成19年6月1日」、「刈羽野(10頁)平成19年8月1日」、「悪戸野(19頁)平成19年2月1日」、「大曲(11・19頁)平成12年9月1日」、「浅舞(11頁)平成15年5月1日」、「象潟(15頁)平成14年4月1日」、「西馬内(16頁)平成23年8月1日」、「十文字(9頁)平成12年8月1日」、「稲庭(16頁)平成14年6月1日」、「小安温泉(9頁)平成14年6月1日」

25,000分の1地形図(電子地図)

「小安温泉(24頁)平成25年11月16日調整」

50,000分の1地形図

「角館(12・13頁)平成22年1月30日」、「六郷(13頁)平成15年6月1日」

目 次

序	
例言	
目次	
第1章 はじめに	1
第2章 実施要項	1
第1節 遺跡分布調査	1
第2節 遺跡確認調査	4
第3章 調査の記録	6
第1節 遺跡分布調査	6
1 平成24年度補足分	6
(1) メガソーラー建設事業	6
(2) 主要地方道川添下浜停車場線建設事業	6
2 平成25年度分	7
(1) 長走登坂車線整備事業	7
(2) 商人留交差点改良事業	7
(3) ニツ井今泉道路建設事業	8
(4) 荒川線形改良事業	8
(5) 成瀬ダム建設事業	9
(6) 醍醐交差点改良	9
(7) 雄物川上流河川改修事業（寺館大巻地区）	10
(8) 雄物川上流河川改修事業（中村芦沢地区）	10
(9) 雄物川上流河川改修事業（西板戸地区）	11
(10) 雄物川上流河川改修事業（烏屋場地区）	11
(11) 国営田沢二期農業水利事業	12
(12) 都市公園安全安心対策工事	14
(13) 主要地方道十二所花輪大湯線歩道設置工事	14
(14) 主要地方道象潟矢島線建設事業	15
(15) 主要地方道大館能代空港西線建設事業	15
(16) 国道398号県単道路改築事業	16
(17) 大館工業団地造成事業	16
第2節 遺跡確認調査	17
1 雄物川上流河川改修事業（西板戸地区）	17
西板戸遺跡	17

2	成瀬ダム建設事業	23
	トクラ遺跡	23
3	一般県道秋田八郎潟線建設事業	30
	貝保遺跡	30
4	一般県道大館能代空港西線建設事業	37
	小勝田館跡	37

第1章 はじめに

国庫補助を得て実施した遺跡詳細分布調査のうち、平成24年度分として平成25年1月～3月に実施したのは、メガソーラー建設事業、主要地方道川添下浜停車場線建設事業に係る試掘調査2件である。平成25年4月～12月には、国土交通省を事業者とする長走登坂車線整備事業、成瀬ダム建設事業、雄物川上流河川改修事業等、農林水産省関連の国営田沢二期農業水利事業、秋田県建設部による主要地方道建設事業等、秋田県産業労働部による大館工業団地造成事業に係る踏査・試掘調査17件と、雄物川上流河川改修事業(西板戸地区)、成瀬ダム建設事業等に係る遺跡確認調査4件を実施した。これらの調査はすでに策定してある調査要項に基づいて、秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室職員、秋田県埋蔵文化財センター職員が、地元教育委員会の協力を得て実施したものである。

第2章 実施要項

第1節 遺跡分布調査

1 調査の目的

開発予定地内を踏査・試掘して遺跡の有無を確認し、遺跡の保護策を講ずる。

2 調査の方法

- (1) 計画地域の範囲内で遺物の表面採集及び試掘調査を実施して遺跡の所在を確認するとともに、遺跡の性格についても把握する。
- (2) 確認された遺跡は地図に記入する。
- (3) 遺跡の状況、遠景を写真撮影し、遺跡の概要も記録する。

3 事業主体者

秋田県教育委員会

4 調査担当者

秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室 主任学芸主事 高橋 学
学芸主事 磯村 亨
文化財主任 新海 和広

※調査に当たっては以下の各教育委員会の方々に御協力いただいた。

鹿角市教育委員会	黒沢 健明
大館市教育委員会	嶋影 壮憲
北秋田市教育委員会	榎本 剛治
潟上市教育委員会	小玉 塁
横手市教育委員会	信太 正樹
にかほ市教育委員会	石船 清隆
東成瀬村教育委員会	古谷 政弘

第2章 実施要項

5 調査対象地域及び事業名

※平成24年度補足分（平成25年1月～3月）

No.	事業者	事業名	事業地	調査期間	調査内容	調査結果
1	出納局	メガソーラー建設事業	湯上市	3月15・21日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
2	建設部	主要地方道川添下浜停車場線建設事業	秋田市	3月26・27日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。

※平成25年度分（平成25年4月～12月）

No.	事業者	事業名	事業地	調査期間	調査内容	調査結果
1	国土交通省	長走登坂車線整備事業	大館市	5月14・22・23日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
2	国土交通省	商人留交差点改良事業	大館市	10月28日、 11月20日	踏査・ 試掘	事業地内で周知の遺跡1か所（竝六IV遺跡）を確認した。
3	国土交通省	二ツ井今泉道路建設事業	能代市・ 北秋田市	8月2日、 12月10・11・24日	踏査・ 試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
4	国土交通省	荒川線形改良事業	大仙市	7月5日、 11月14日	踏査・ 試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
5	国土交通省	成瀬ダム建設事業	東成瀬村	7月17・31日、 10月15・17・18日	踏査・ 試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
6	国土交通省	醍醐交差点改良	横手市	7月12・17・31日、 9月24日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
7	国土交通省	雄物川上流河川改修事業 （寺館大巻地区）	大仙市	5月8日、 6月18日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
8	国土交通省	雄物川上流河川改修事業 （中村芦沢地区）	大仙市	6月27日、 12月18・20日	踏査・ 試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
9	国土交通省	雄物川上流河川改修事業 （西板戸地区）	大仙市	10月25日、 12月13日	踏査・ 試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
10	国土交通省	雄物川上流河川改修事業 （鳥屋場地区）	横手市	5月17日、 6月6日	踏査・ 試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
11	農林水産省	国営田沢二期農業水利事業	仙北市・ 大仙市・ 美郷町	12月20日	踏査	来年度以降対応必要。
12	建設部	都市公団安全安心対策工事	秋田市	6月26日	試掘	事業地内で周知の遺跡1か所（副向II遺跡）を確認した。
13	建設部	主要地方道十二所花輪大湯線歩道設置工事	鹿角市	10月31日	踏査・ 試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
14	建設部	主要地方道象潟欠島線建設事業	にかほ市	9月27日	踏査・ 試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
15	建設部	主要地方道大館能代空港西線建設事業	北秋田市	11月6日、 12月12・25・26日	試掘	事業地内で周知の遺跡1か所（小ヶ田遺跡）を確認した。
16	建設部	国道398号県単道路改築事業	湯沢市・ 羽後町	6月12日	踏査	事業地内で周知の遺跡2か所（新城川遺跡・福島遺跡）を確認した。
17	産業労働部	大館工業団地造成事業	大館市	10月16日、 11月19日、 12月4～6日	踏査・ 試掘	事業地内で周知の遺跡1か所（片貝遺跡）を確認した。

※平成24年度補足分工事立会（平成25年1月～3月）

No	事業者	事業名	事業地	立会期間	立会結果	備考
1	国土交通省	大館西道路建設事業	大館市	2月18日	遺構・遺物は確認できなかった。	狼六Ⅱ遺跡

※平成25年度工事立会（平成25年4月～12月）

No	事業者	事業名	事業地	立会期間	立会結果	備考
1	国土交通省	雄物川上流河川改修事業 (西板戸地区)	大仙市	7月10日、 8月12日	遺構・遺物は確認できなかった。	西板戸遺跡
2	国土交通省	雄物川上流河川改修事業 (西板戸地区)	大仙市	8月12日	遺構・遺物は確認できなかった。	十二袋遺跡
3	国土交通省	成瀬ダム建設事業	東成瀬村	10月22-31日	遺構・遺物は確認できなかった。	トクラ遺跡
4	建設部	都市公園安全安心対策工 事	秋田市	5月22日	遺構・遺物は確認できなかった。	函向Ⅱ遺跡
5	建設部	主要地方道秋田岩見船岡 線道路改築工事	秋田市	10月25日～	工事立会継続中。	久保田城跡
6	建設部	都市公園安全安心対策工 事	秋田市	9月9日	遺構・遺物は確認できなかった。	函向Ⅱ遺跡
7	教育庁	県立聾学校解体工事	秋田市	9月30日、 10月7・15・21日	遺物を採集した。	県立聾学校遺跡
8	教育庁	県立秋田工業高等学校改 築事業	秋田市	10月7日～	工事立会継続中。	一ノ坪条里別 遺構

第2節 遺跡確認調査

1 調査の目的

開発事業計画に係る遺跡の広がり、埋没の度合い、時代とその性格を知るために当該地域での遺物の表面採集及び小規模の発掘調査(遺構確認而までの掘り下げ)を行い、当該埋蔵文化財の保護と保存を図る。

2 調査の方法

- (1) 地形を考慮したトレンチ及び試掘坑を設定して行う。また、遺構等が確認された場合、できる限り面的に調査範囲を広げてその確認に努める。
- (2) 確認された遺構・遺物、遺物包含層、堆積土の厚さ等は、実測図等により記録する。また、遺跡の全景と調査状況、遺構・遺物の確認状況等は写真撮影する。
- (3) 使用する地形図は開発部局で作成した最大縮尺の図面とする。

3 事業主体者

秋田県教育委員会

4 調査担当者

秋田県埋蔵文化財センター 学芸 主事 山田 徳道 水品 仁志 築瀬 圭二
山村 剛 佐々木尚人

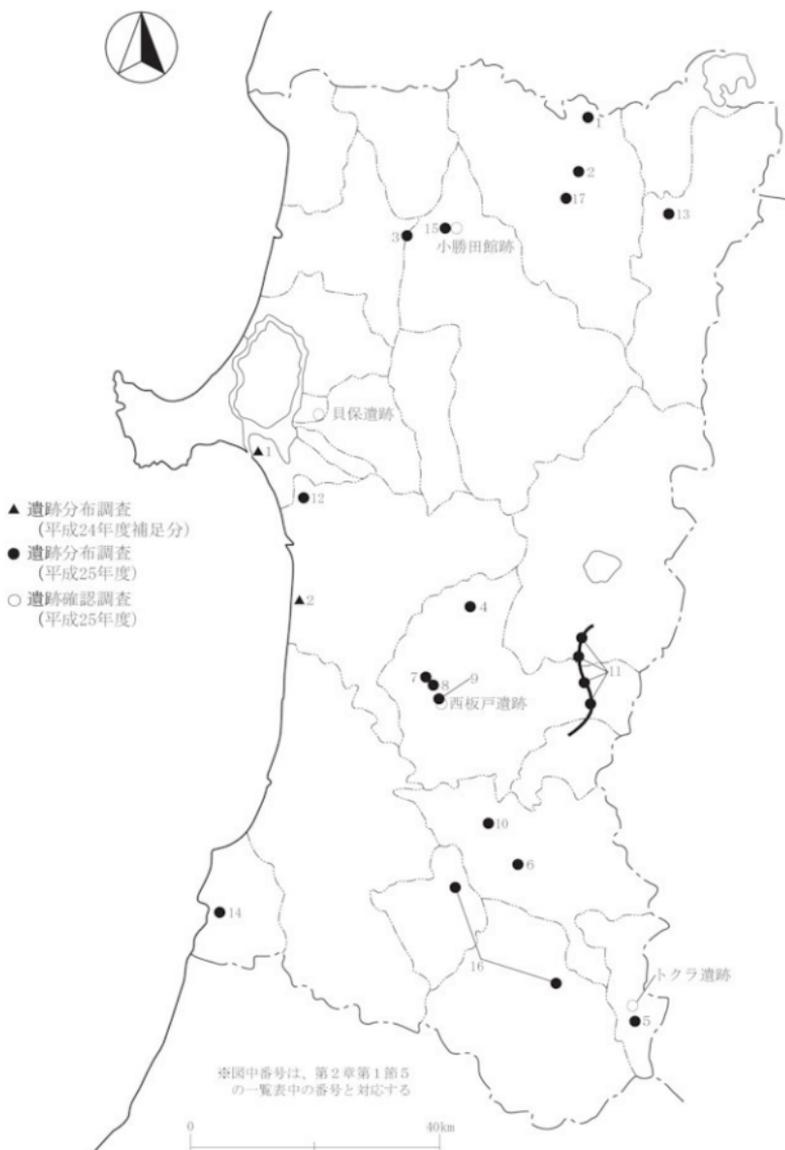
文化財主査 加藤 竜

文化財主事 伊豆 俊祐

※職名は当時のものである。

5 調査対象遺跡及び事業名

No.	事業名	遺跡名(所在地)	調査期間	調査担当者
1	雄物川上流河川改修事業 (西板戸地区)	西板戸遺跡(大仙市)	平成25年6月24日 ～6月28日	山田・佐々木
2	成瀬ダム建設事業	トクラ遺跡(東成瀬村)	平成25年10月21日 ～11月1日	加藤・伊豆
3	一般県道秋田八郎潟線建設事業	貝保遺跡(八郎潟町)	平成25年6月19日 ～6月28日	水品・山村
4	一般県道大館能代空港西線建設 事業	小勝田館跡(北秋田市)	平成25年10月15日 ～11月5日	山田・築瀬



第1図 遺跡分布調査・遺跡確認調査地点図

第3章 調査の記録

第1節 遺跡分布調査

1 平成24年度補足分

(1) メガソーラー建設事業

事業予定地の天王地区と江川地区の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了した。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	潟上市天王字天王	..	荒蕪地	なし	
2	潟上市天王字江川	..	荒蕪地	なし	



第2図 メガソーラー建設事業 遺跡分布調査位置図

(2) 主要地方道川添下浜停車場線建設事業

事業予定地のうち、下浜工業団地北側について試掘調査を実施した。調査の結果、対象区域内では遺構・遺物とも確認できなかったが、来年度以降事業の進捗状況に合わせた試掘等の対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	秋田市下浜羽川	..	山林・荒蕪地	なし	



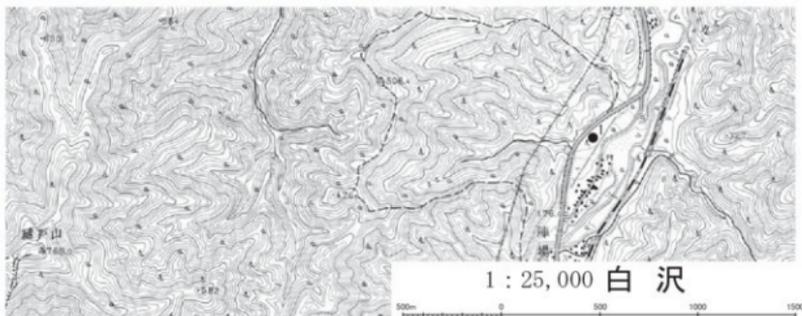
第3図 主要地方道川添下浜停車場線建設事業 遺跡分布調査位置図

2 平成25年度分

(1) 長走登坂車線整備事業

事業予定地について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了した。

No	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	大館市長走字陣場	..	山林	なし	



第4図 長走登坂車線整備事業 遺跡分布調査位置図

(2) 商人留交差点改良事業

事業予定地の現地踏査、試掘調査を実施した。調査の結果、周知の遺跡1か所(狼穴IV遺跡)を確認した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	狼穴IV遺跡	大館市釈迦内字狼穴	古代	畑地		周知の遺跡

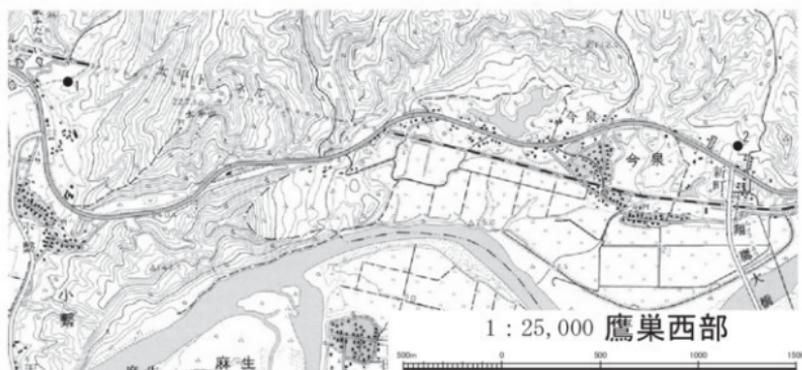


第5図 商人留交差点改良事業 遺跡分布調査位置図

(3) ニツ井今泉道路建設事業

事業予定地の現地踏査、試掘調査を実施した。調査の結果、今泉地区では遺構・遺物とも確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。ただし、ニツ井字小繋地区では、事業の進捗に合わせて試掘等の対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	能代市ニツ井町字小繋	..	山林	なし	
2	北秋田市今泉	..	畑地	なし	

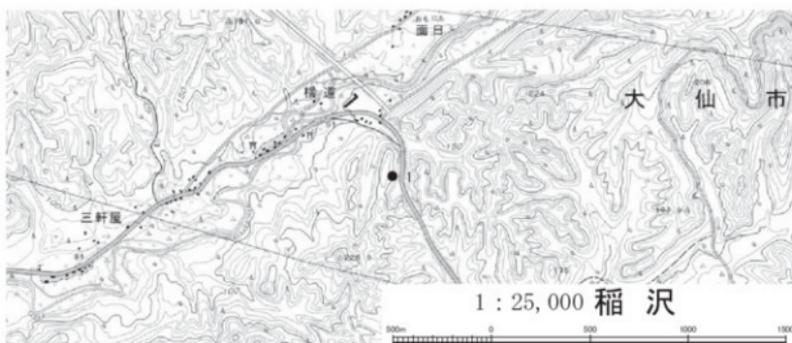


第6図 ニツ井今泉道路建設事業 遺跡分布調査位置図

(4) 荒川線形改良事業

事業予定地の現地踏査、試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了した。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	大仙市協和稲沢・荒川	..	水田・山林	なし	

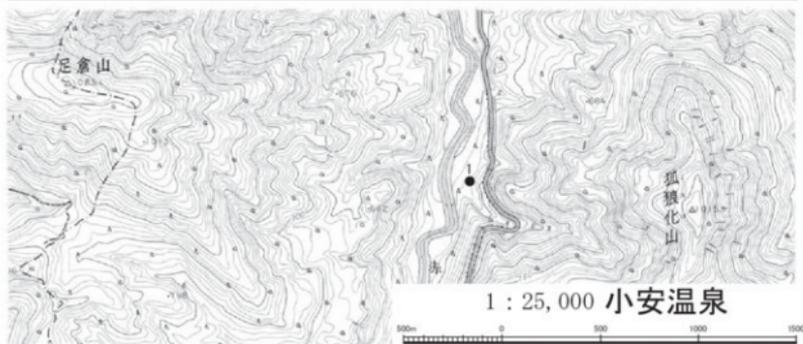


第7図 荒川線形改良 遺跡分布調査位置図

(5) 成瀬ダム建設事業

事業予定地の現地踏査、試掘調査を実施した。調査の結果、対象地内では遺構・遺物とも確認できなかったが、来年度以降事業の進捗状況に合わせた試掘等の対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	東成瀬村椿川字仁郷山	..	山林	なし	



第8図 成瀬ダム建設事業 遺跡分布調査位置図

(6) 醍醐交差点改良

事業予定地の試掘調査を実施した。調査の結果、対象地内では遺構・遺物とも確認できなかったが、来年度以降事業の進捗状況に合わせた試掘等の対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	横手市平鹿町醍醐字醍醐	..	宅地	なし	



第9図 醍醐交差点改良 遺跡分布調査位置図

(7) 雄物川上流河川改修事業（寺館大巻地区）

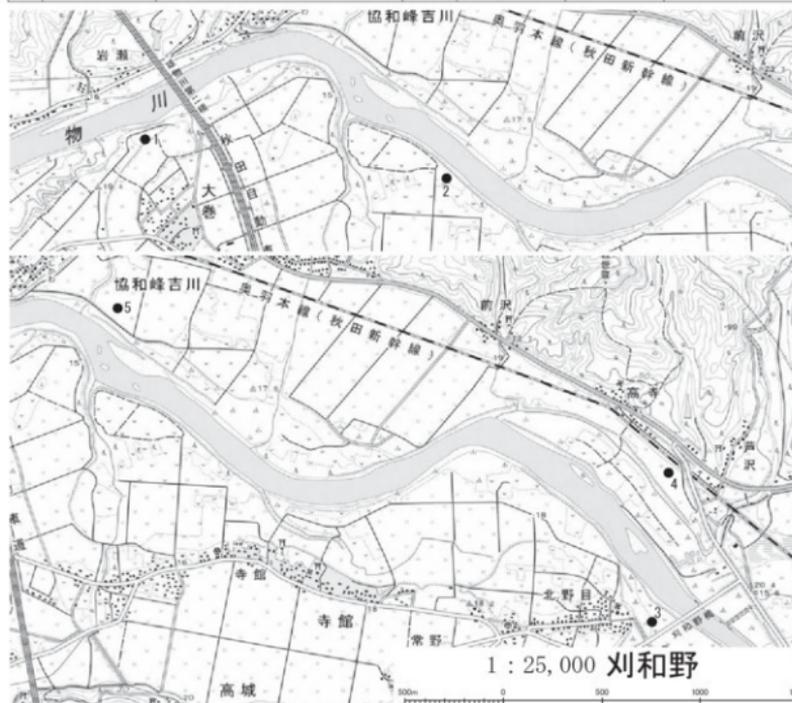
事業予定地のうち、大巻工区(No.1、測点番号46～51)、寺館工区(No.2、測点番号78～93)、北野目工区(No.3、測点番号130～133)について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせて試掘等の対応が必要である。

No	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	・・・・	大仙市大巻字立廻沢見	・・	荒蕪地	なし	
2	・・・・	大仙市寺館字下毛野	・・	荒蕪地	なし	
3	・・・・	大仙市寺館字八卦	・・	荒蕪地	なし	

(8) 雄物川上流河川改修事業（中村芦沢地区）

事業予定地のうち、芦沢工区(No.3、測点番号50～72)、中村下流工区(No.4、測点番号7～17)について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせて試掘等の対応が必要である。

No	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
4	・・・・	大仙市協和峰吉川字高寺下	・・	荒蕪地	なし	
5	・・・・	大仙市協和峰吉川字南明谷地	・・	荒蕪地	なし	



第10図 雄物川上流河川改修事業(寺館大巻・中村芦沢地区) 遺跡分布調査位置図

(9) 雄物川上流河川改修事業（西板戸地区）

事業予定地のうち、西板戸工区(測点番号24～25)について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせて試掘等の対応が必要である。

No	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	大仙市南外字西板戸	..	荒蕪地	なし	

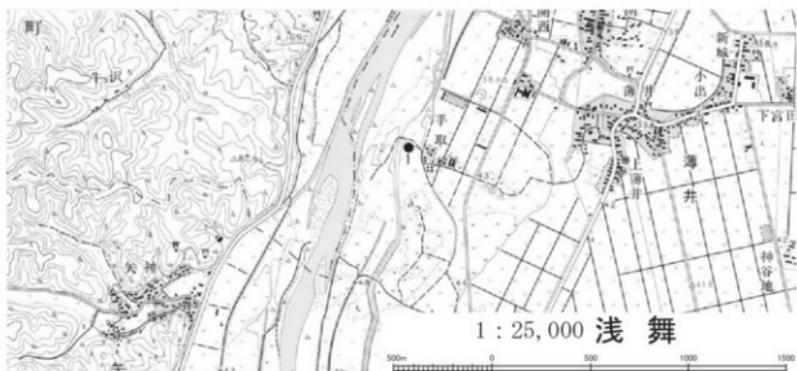


第11図 雄物川上流河川改修事業（西板戸地区） 遺跡分布調査位置図

(10) 雄物川上流河川改修事業（鳥屋場地区）

事業予定地について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了した。

No	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	横手市雄物川町薄井字鳥屋場	..	荒蕪地	なし	



第12図 雄物川上流河川改修事業（鳥屋場地区） 遺跡分布調査位置図

(11) 国営田沢二期農業水利事業

事業予定地を踏査し、8か所の周知の遺跡と重なることを確認した。今後も事業の進捗状況に合わせて踏査を行い、要対応箇所を見定めるが必要である。

No	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	都野	仙北市田沢湖梅沢字都野	縄文	畑		周知の遺跡
2	船上堰	仙北市田沢湖梅沢字都野		林		周知の遺跡
3	黒倉Ⅲ	仙北市田沢湖卒田字黒倉		水田		周知の遺跡
4	白岩城Ⅱ	仙北市角館町白岩前郷山	中世	山林		周知の遺跡
5	旭田	大仙市豊岡字小沼山	縄文	山林		周知の遺跡
6	十六沢城	大仙市豊岡字小沼山	中世	山林		周知の遺跡
7	お金塚	大仙市大神成字上村	縄文	山林		周知の遺跡
8	上の台	大仙市太田町永代字上の山	中世	山林		周知の遺跡



第13図 国営田沢二期農業水利事業 遺跡分布調査位置図(1)



第14図 国営田沢二期農業水利事業 遺跡分布調査位置図(2)

(12) 都市公園安全安心対策工事

事業予定地について試掘調査を実施した。その結果、周知の遺跡1か所(湯向Ⅱ遺跡)を確認した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	湯向Ⅱ遺跡	秋田市金足小泉字湯向	縄文	公園		周知の遺跡



第15図 都市公園安全安心対策工事 遺跡分布調査位置図

(13) 主要地方道十二所花輪大湯線歩道設置工事

事業予定地について現地踏査と試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了した。

No	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	鹿角市花輪字寺坂	..	畑地・果樹園	なし	



第16図 主要地方道十二所花輪大湯線歩道設置工事 遺跡分布調査位置図

(14) 主要地方道象潟矢島線建設事業

事業予定地について現地踏査と試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了した。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	にかほ市象潟町字荒屋表	..	山林	なし	



第17図 主要地方道象潟矢島線建設事業 遺跡分布調査位置図

(15) 主要地方道大館能代空港西線建設事業

事業予定地について試掘調査を実施した。調査の結果、周知の遺跡1か所(小ヶ田遺跡)を確認した。いずれの箇所からも遺構・遺物とも検出されなかった。小ヶ田遺跡については、現水田下に厚さ3mのシラスが堆積しており、地山との間に遺物包含層は確認されなかったことから、慎重工事で対応可能であることを確認した。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	北秋田市脇神字館野	..	水田	なし	
2	北秋田市脇神字小ヶ田	..	宅地	なし	
3	小ヶ田遺跡	北秋田市脇神字小ヶ田	縄文	水田		周知の遺跡
4	北秋田市坊沢字畑ヶ沢	..	水田	なし	

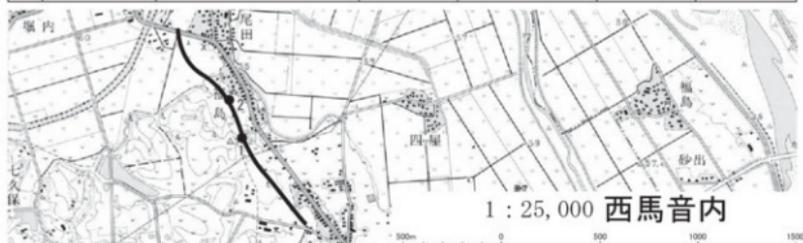


第18図 主要地方道大館能代空港西線建設事業 遺跡分布調査位置図

(16) 国道398号県単道路改築事業

事業予定地について現地踏査を実施した。その結果、周知の遺跡2か所(新城川遺跡、福島遺跡)を確認した。今後、事業の進捗に合わせて試掘等の対応が必要である。

No	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	新城川遺跡	羽後町足田字新城川	縄文・古代	畑地・山林		周知の遺跡
2	福島遺跡	羽後町足田字福島	縄文・古代	畑地・山林・原野		周知の遺跡
3	・・・	湯沢市稲庭	・・・	水田・原野	なし	



第19図 国道398号県単道路改築事業 遺跡分布調査位置図

(17) 大館工業団地造成事業

事業予定地について試掘調査を実施した。その結果、周知の遺跡1か所(片貝遺跡)を確認した。今後、事業の進捗に合わせて確認調査が必要である。

No	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	片貝遺跡	大館市二井田字片貝	縄文・古代	山林・畑地	竪穴建物跡、土師器・須恵器、縄文土器	周知の遺跡 竪穴建物跡は古代



第20図 大館工業団地造成事業 遺跡分布調査位置図

第2節 遺跡確認調査

1 雄物川上流河川改修事業（西板戸地区）

西板戸遺跡

1 遺跡所在地	秋田県大仙市南外字西板戸81-2ほか
2 確認調査期間	平成25年6月24日～平成25年6月28日
3 確認調査対象面積	6,500㎡
4 工事区域内遺跡面積	6,500㎡
5 工事区域内要本発掘調査面積	4,000㎡
6 遺跡の立地と現況	

a 立地

遺跡はJR奥羽本線神宮寺駅の西4.0kmに位置し、雄物川と櫛岡川の合流点から南0.5km、櫛岡川の左岸、標高約20mの段丘上に立地する。遺跡の東側は西から北に流れを変える雄物川の氾濫原であり、現在でも豪雨の際には冠水するような地形である。遺跡南側の丘陵上には中世城館の櫛岡城があり、同じ丘陵上の遺跡西側に猿倉沢館がある。

b 現況

調査対象範囲は平坦な休耕地と宅地跡であり、遺跡の東側は櫛岡川の河川敷に隣接し、北側から南西側は農道が調査区内を横断する。また、西側には西板戸集落がある。

7 確認調査の方法

調査は、農道のアスファルト部分を除き、幅1.8mのトレンチを30～50mの長さで南北方向に4本、8～12mの長さで東西方向に5本、合計9本設定した。重機による掘削後、トレンチ壁面及び底面を人力で精査し、遺構・遺物の有無を確認した。調査の記録は、検出遺構と出土遺物の位置を示す平面図及び簡易土層図の作成と写真記録によった。

確認調査における実質調査面積は331㎡で、確認調査対象面積の約5%に相当する。

8 確認調査の結果

a 層序

遺跡の基本層序は、次の通りである。

第Ⅰ層 暗褐色(10YR3/3)シルト 締まり強 粘性中 層厚20～40cm 表土

第Ⅱa層 灰黄褐色(10YR5/6)シルト 締まり強 粘性弱 層厚25～35cm

第Ⅱb層 褐色(10YR4/4)シルト 締まりやや強 粘性弱 層厚30～55cm 遺構検出面

第Ⅲ層 黒褐色(10YR3/2)シルト 締まり強 粘性中 層厚40～60cm 遺構検出面

第Ⅳ層 暗褐色～灰黄褐色(10YR3/4～4/2)粘質土 締まり中 粘性強 層厚5～15cm 地山漸移層

第Ⅴ層 にぶい黄褐色(10YR5/4)粘質土 締まり中 粘性強 地山

遺跡内の基本層序は大別すると5層である。表土下に地山土(第Ⅴ層)に近い灰黄褐色土・褐色土(第Ⅱ層)が堆積している。第Ⅱ層は地山土の二次堆積層であるが、比較的短期間に形成された洪水堆積層と想定される。地山上面までの総層厚は、110～150cmで、表土除去が必要な層厚は20～40cmである。

遺構は表土直下の第Ⅱb層上面と第Ⅲ層上面で、第Ⅱb層土に地山土塊や焼土及び炭化材を含んだプランを確認している。

b 検出遺構と出土遺物

遺構は土坑6基、井戸跡2基、溝跡1条、柱穴様ピット28基を検出した。

第1トレンチ中央付近では土坑1基、第1・4～6トレンチで複数の柱穴様ピットを検出した。第2トレンチ北端では井戸跡1基を検出し、分布調査時にその埋土から陶器片が出土している。第2トレンチ南端では土坑1基、柱穴様ピットを複数検出した。第3トレンチ中央付近で焼土や炭化材が混入する土坑2基、溝跡1条、柱穴様ピットを検出した。第7トレンチ中央付近で焼土や炭化材が混入する土坑2基、第8トレンチ西端で井戸跡を1基検出した。

9 所見

a 遺跡の種類

第2トレンチ北端で検出した井戸跡の埋土から陶器片が出土している。よって中世の集落跡と推定される。

b 遺跡の範囲と工事区域

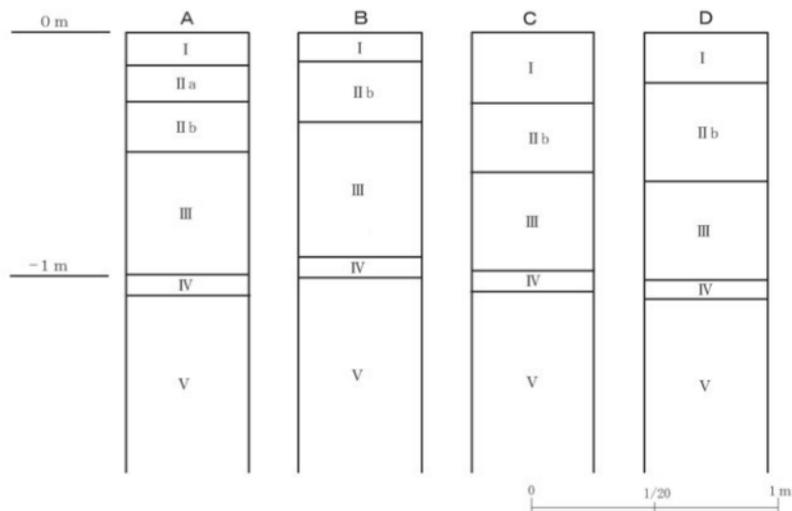
調査対象地の南側は遺構が確認されなかったため本発掘調査範囲から除いた。本発掘調査が必要な範囲は4,000㎡である。

c 発掘調査時に予想される遺構・遺物

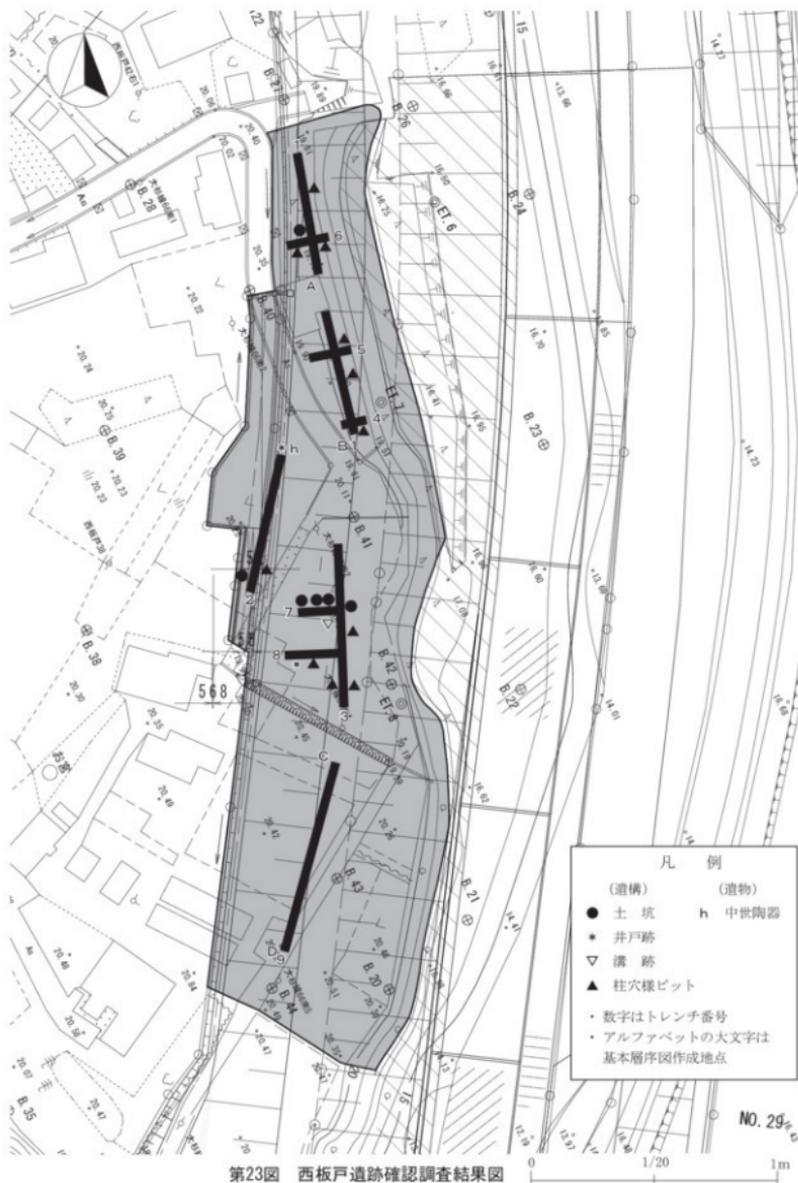
遺構は中世の掘立柱建物跡5棟、土坑20基、井戸跡5基、溝跡1条、柱穴様ピット100基等が検出されることが考えられる。遺物は陶磁器が中コンテナで20箱程度出土することが予想される。



第21図 西板戸遺跡位置図



第22図 西板戸遺跡基本層序





第24図 西板戸遺跡要本発掘調査範囲図



第2トレンチ
作業状況

(南東から)



第2トレンチ
井戸跡検出状況

(南西から)



第7トレンチ
焼土を含む土坑検出状況

(南から)

2 成瀬ダム建設事業

トクラ遺跡

1 遺跡所在地	秋田県雄勝郡東成瀬村楯川字トクラ4-1
2 確認調査期間	平成25年10月21日～11月1日
3 確認調査対象面積	3,000㎡
4 工事区域内遺跡面積	23,500㎡
5 工事区域内要本発掘調査面積	※本年度調査では未確定
6 遺跡の立地と現況	

a 立地

遺跡は成瀬川支流の北ノ俣沢右岸にある南向きの段丘状の平坦面に立地する。平坦面は段丘面の様相を呈するが、地滑りによって形成された地形の可能性も考えられる。同面は高位・中位・低位の3面からなり、このうち上位の2面が遺跡の範囲と推定される。今回調査を行った高位面の標高は480mほどである。これより西～南西には中・下位の平坦面が続き、南東は崖となっている。

b 現況

遺跡推定範囲の中心部は工事用ヤードとして盛土造成されており、この部分の具体的な地形状況は不明である。盛土造成範囲外の東・南側縁辺部には雑木が繁茂し、西側縁辺部は杉林となっている。今回の調査対象とした東・南側縁辺部は概ね北東から南西に向かって下る緩斜面であるが、小規模の沢によって開析され、起伏の多いやや複雑な地形面となっている。

7 確認調査の方法

調査は幅約2mのトレンチを第1トレンチから第8トレンチまでの計8本設定し、重機で掘り下げた。その後、人力でトレンチ壁面及び底面を精査し、遺構・遺物の有無を確認した。盛土造成の行われていない高位平坦面の東・南側縁辺部を調査対象範囲としたが、造成部分の一部においても重機で盛土を除去し、第4・5トレンチを掘削した。調査の記録は、検出遺構の位置を示す平面図及び簡易土層図の作成と写真記録によった。遺物は出土位置を記録して取り上げを行った。

調査対象範囲外の第4・5トレンチを除くと、実質調査面積は390㎡で、確認調査対象面積の13%にあたる。第4・5トレンチの調査面積は150㎡である。

8 確認調査の結果

a 層序

遺跡の基本層序は、次の通りである。

第Ⅰ層 黒色(10YR1.7/1)シルト質土 締まり弱 粘性弱 層厚5～13cm 腐葉土主体の現表土

第Ⅱ層 黒褐色(10YR3/2)シルト質土 締まり中 粘性弱 層厚4～14cm 漸移層

第Ⅲ層 褐色(10YR4/6)シルト質土 締まり中 粘性やや弱 部分的に礫を含む 地山

第Ⅲ層 にぶい黄褐色(10YR5/4)シルト質土 締まりやや強 粘性弱 沢地部分で確認することができる。Ⅲ層が水の影響を受けグライ化したものか。

第Ⅳ層 黄褐色(10YR5/6)シルト質土 締まり中 粘性やや弱 礫層

遺物は第Ⅱ層下部から第Ⅲ層上部にかけて含まれている。遺構はⅢ層上面で確認した。第4・5トレンチでは、上に積まれた盛土に潰され、上部の層厚が薄くなっている。第1トレンチ東端部のE

地点では深掘りを行い、第Ⅲ層以下の堆積状況を確認したところ、第Ⅲ層上面より24cmの深さで礫層(Ⅳ層)を検出した。

b 検出遺構と出土遺物

遺構は土坑14基、集石遺構2基を検出した。これらは今回の調査対象範囲の東側、第1・3トレンチの交点付近及び第4・5トレンチの交点付近の比較的起伏の少ない平坦地に集中している。土坑は長軸長1.1~1.9mの楕円形を呈するものが多い。第1トレンチで検出した1基を半截したところ、底面は礫層に到達し、深さは20cm未満と比較的浅い。土坑の性格は判然としなない。集石遺構は長軸長1.2~1.5mの楕円形の範囲に礫が集中したもので、規則的な配置は認められない。周辺出土遺物の時代的傾向から、集石炉の可能性を考慮しておく必要がある。なお、第6トレンチ南西端の平坦面においては石器碎片的集中箇所が認められ、石器製作跡の可能性が高い。

遺物は縄文土器、剥片石器が出土した。縄文土器は10点未満で、時期は早期~前期に比定される。剥片石器は剥片・破片が多量に出土したが、残核は確認されていない。製品は石篋、石匙、削器等が出土し、このうち石篋が多数を占める。遺物量は合計で中コンテナ1箱程度である。

9 所見

a 遺跡の種類

縄文時代早期~前期の石器製作地と考えられる。

b 遺跡の範囲と工事区域

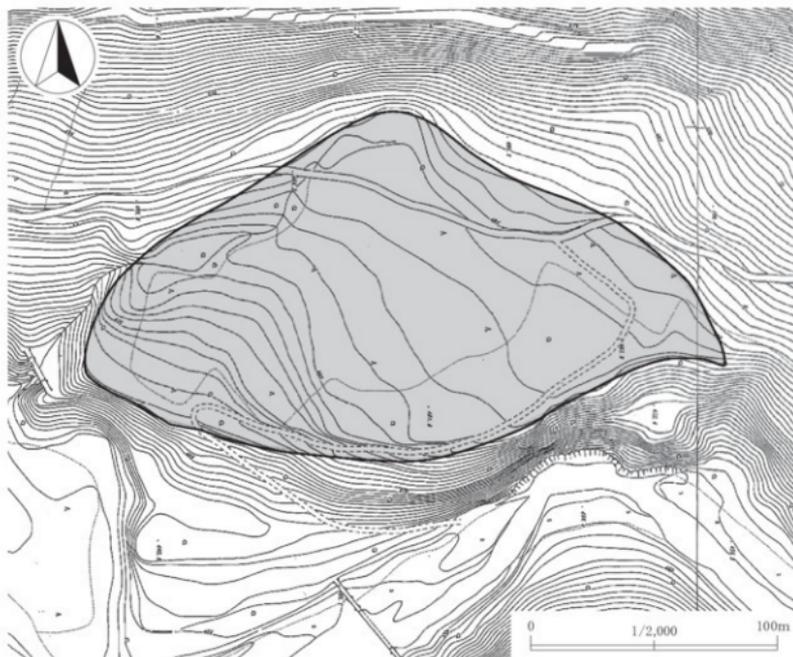
遺跡の範囲は今回調査を行った高位平坦面と、西側の中位平坦面からなると推定される。この全域が工事区域内に含まれるが、今回は高位面の一部を調査したに過ぎず、要本発掘調査範囲の確定には至っていない。調査した高位面だけを見ても、大部分が盛土に覆われていて全体の地形が不明であることから、現段階で本発掘調査の範囲を確定することはできないが、少なくとも遺構・遺物が集中して確認された東側縁辺部については本発掘調査が必要であると考えられる。一方、第1トレンチ中央部、第4トレンチ東部、第7・8トレンチ南端部には沢地がかかっており、水場の可能性がないか、今後の確認調査で判断する必要がある。

c 発掘調査時に予想される遺構・遺物

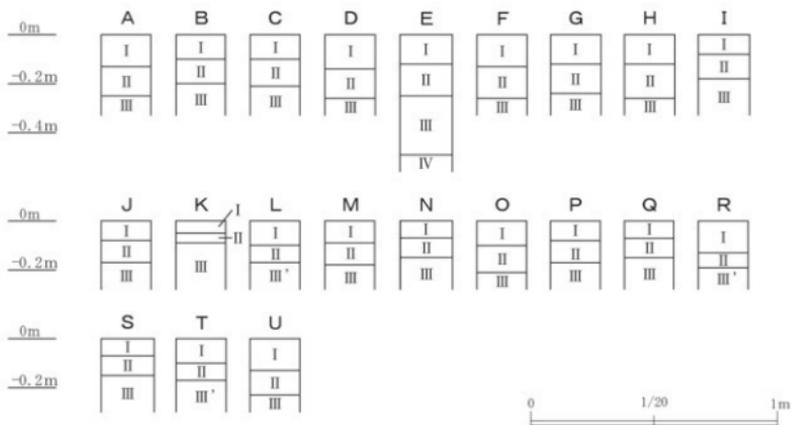
遺構は縄文時代早期~前期の土坑、集石遺構、石器製作跡が検出されると予想される。遺物は縄文時代早期~前期の土器、石器が出土すると予想される。



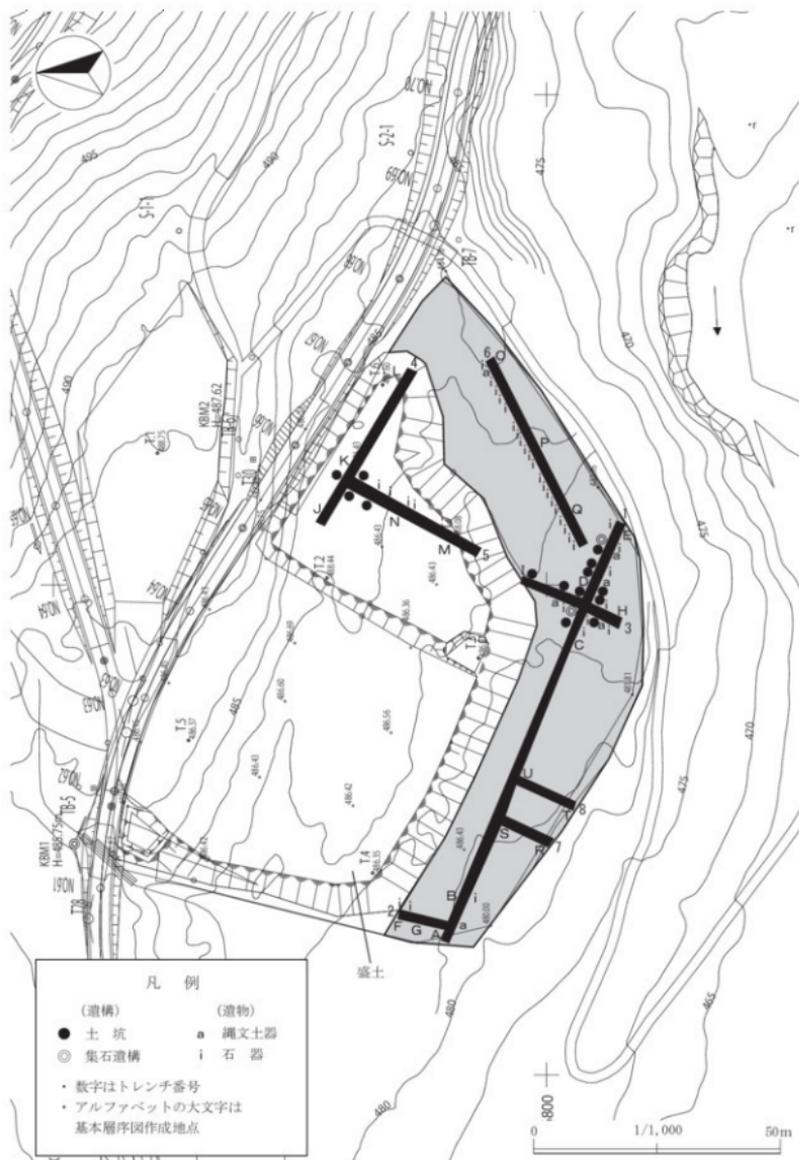
第25図 トクラ遺跡位置図



第26図 トクラ遺跡推定範囲図



第27図 トクラ遺跡基本層序図



第28図 トクラ遺跡確認調査結果図

遺跡遠景

(北東から)



第1トレンチ
集石遺構検出状況

(南西から)



第1トレンチ
E地点土層断面

(北から)





トクラ遺跡平成20年度分布調査出土遺物



トクラ遺跡確認調査出土土器



トクラ遺跡確認調査出土石器(遺構内)



トクラ遺跡確認調査出土石器(遺構外)

3 一般県道秋田八郎潟線建設事業

貝保遺跡

1 遺跡所在地	秋田県南秋田郡八郎潟町川崎字貝保99-3ほか
2 確認調査期間	平成25年6月19日～6月28日
3 確認調査対象面積	2,100㎡
4 工事区域内遺跡面積	1,756㎡
5 工事区域内要本発掘調査面積	1,300㎡
6 遺跡の立地と現況	

a 立地

遺跡はJR奥羽本線八郎潟駅より西南西へ2.2km、馬場目川右岸の標高7mの河岸段丘上に位置し、東北東1.7kmには森山がある。遺跡周辺には、南西2.1kmに古代城柵官衙と推定される石崎遺跡や南南西1.5kmに古代の祭祀遺跡である中谷地遺跡が、西0.8kmには、古代の集落跡である開防遺跡がある。

本遺跡は湖東総合病院の西側に隣接し、平成13・14年度に五城目八郎潟I Cへのアクセスとなる県道15号線の開設に伴い、その一部で発掘調査が実施され、その結果、平安時代の集落跡であることが確認された。今回の調査区は、前回調査区の東西に隣接する範囲である。

b 現況

調査対象範囲は、県道15号線によって東側(A区)と西側(B区)に分かれる。10年ほど前までは耕作地であったが、現在は荒蕪地である。A区は湖東総合病院の敷地、B区は薬局に隣接し、この南側は県道15号線に面している。確認調査時は、一部に碎石が敷設された状態で全体に雑草が繁茂していた。調査区には下水管が3本埋設されている。A区ではその内の2本が縦断し、B区では1本が東端に接している。

7 確認調査の方法

調査は第1～12までの幅1.8mのトレンチを設定した。主に重機で遺構・遺物検出面の上り面まで掘り下げ、第8トレンチのみ人力で掘削した。トレンチ壁面及び底面等を精査し、遺構・遺物の有無を確認した。確認した遺構・遺物は、写真撮影後に位置を記録し、遺物に関しては取り上げを行った。実質調査面積は243.5㎡で、確認調査対象面積の約11.6%に相当する。

8 確認調査の結果

a 層序

調査対象範囲内の層序は次の通りである。なお、第I層は表土及び道路工事に伴う造成土、第II層は水田に伴う造成土及び旧耕作土、第III層が古代の遺物包含層、第IV層は遺跡の基盤層と判断する。第III層はA区において厚さ10～30cmほど残り、B区では確認できなかった。

第I層	ぶい黄褐色(10YR4/3～3/1)シルト	締まり中	粘性弱	層厚10～120cm	造成土
第II a層	暗オリーブ灰色(2.5Y5/1～4/1)粘土	締まり強	粘性強	層厚5～60cm	水田耕作土
第II b層	褐灰～暗褐色(10YR5/1～3/4)粘土	締まり強	粘性強	層厚1～38cm	水田床土
第II c層	灰黄褐(10YR4/2)シルト	締まり強	粘性強	層厚5cm	植物腐食層
第III層	暗褐色(10YR3/4)シルト	締まり強	粘性強	層厚10～30cm	古代の遺物包含層

第IV層 褐～灰色(10YR4/6～4/7.5Y5/1)粘土 締まり強 粘性強 地山

b 検出遺構と出土遺物

調査の結果、北端の第9トレンチ以外のA・B両区から遺構を検出し、第1～8・11・12トレンチからは遺物が出土した。このことから調査対象地区の北端部分を除くほぼ全域が遺跡範囲内であることを確認した。検出した遺構は、井戸跡1基、炭窯跡1基、溝跡2条、土坑8基、柱穴様ビット82基である。遺構の構築時期に関しては古代に属すると思われる。

遺物は、主に第III層中や遺構内から土師器、須恵器、鉄滓が出土している。

9 所見

a 遺跡の種類

掘立柱建物構成と思われる柱穴様ビット群や炭窯跡、井戸跡が検出され、土師器、須恵器、鉄滓が出土したことから、古代の集落跡と考えられる。

b 遺跡の範囲と工事区域

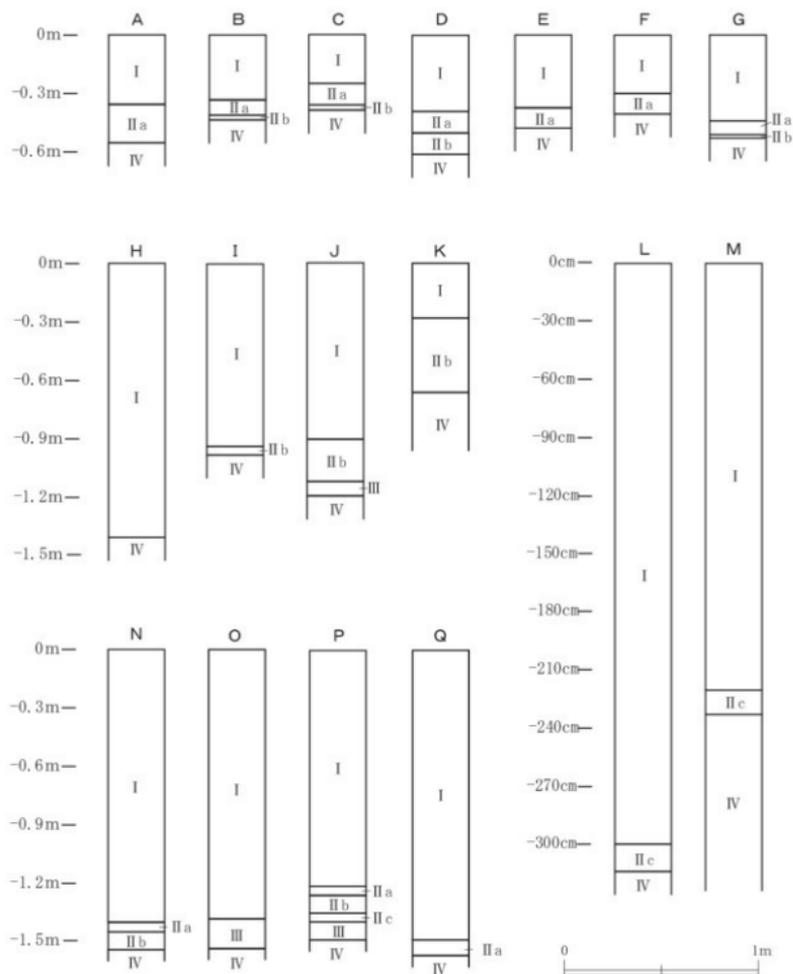
遺跡の広がり、周囲の水田よりも一段高い微高地のほぼ全域にわたると考えられる。本発掘調査の対象範囲は、基本的にこの微高地全体となる。ただし、前回平成13・14年度の発掘で調査済みの範囲と、A区において遺構・遺物が確認できなかった北端部、南北に敷設された側溝の南側は、新しい付け替え道路用地から外れるため、要本発掘調査範囲から除外した。以上より、A区620㎡とB区680㎡を合わせた1,300㎡が本発掘調査の必要な範囲である。

c 発掘調査時に予想される遺構・遺物

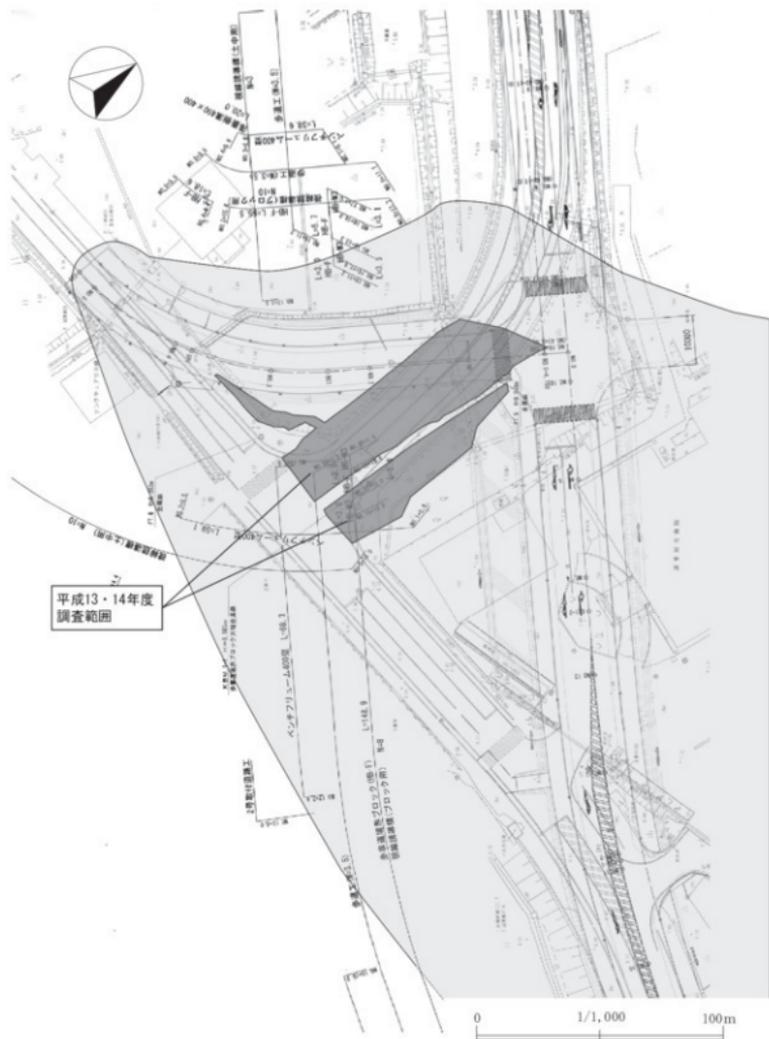
遺構は、掘立柱建物跡、井戸跡、鍛冶が跡、焼土遺構、溝跡、土坑、柱穴様ビット等の検出が予想される。遺物は、古代の土師器、須恵器、鉄滓、木製品が中コンテナで20箱程度出土すると考えられる。



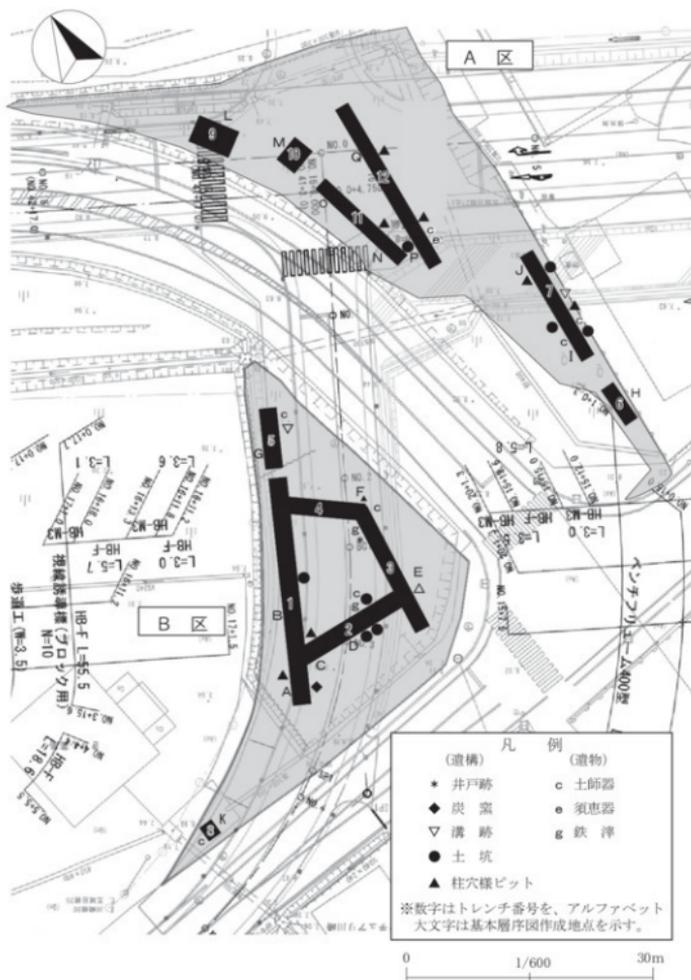
第29図 貝保遺跡位置図



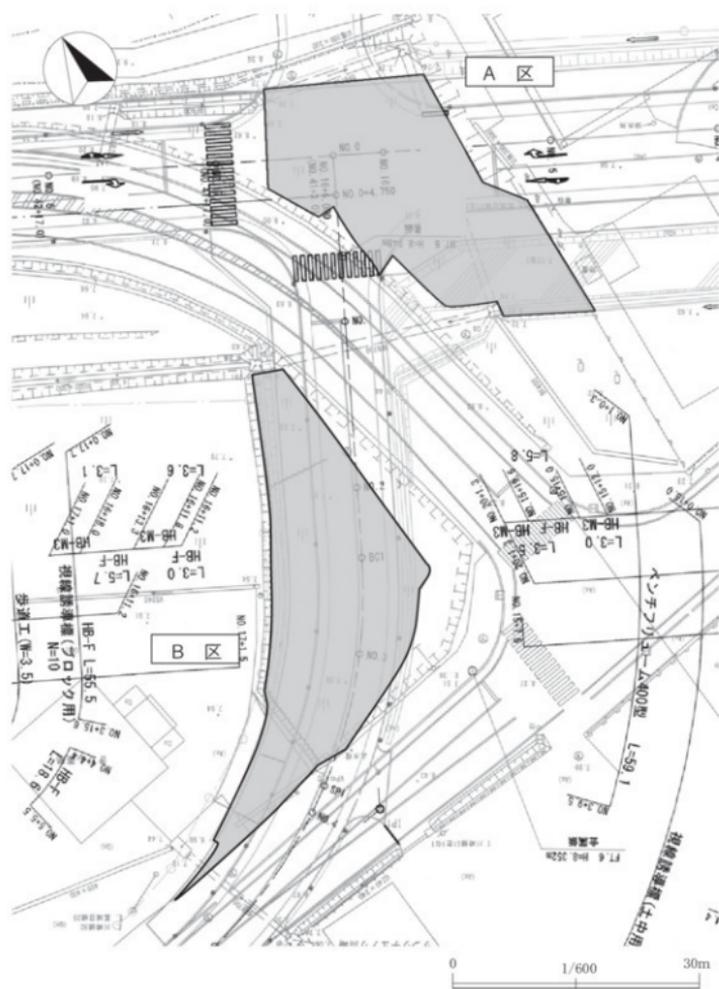
第30図 貝保遺跡基本層序図



第31図 貝遺跡推定範囲図



第32図 貝保遺跡確認調査結果図



第33図 貝保遺跡要本発掘調査範囲図



B区近景

(南から)

※右奥は湖東総合病院。



第1トレンチ南端

炭窯跡検出状況

(西から)



第3トレンチ

井戸跡検出状況

(東から)

4 一般県道大館能代空港西線建設事業

小勝田館跡

1 遺跡所在地	秋田県北秋田市脇神字館野22ほか
2 確認調査期間	平成25年10月15日～11月5日
3 確認調査対象面積	12,100㎡
4 工事区域内遺跡面積	12,100㎡
5 工事区域内要本発掘調査面積	11,000㎡
6 遺跡の立地と現況	

a 立地

遺跡は秋田内陸縦貫鉄道秋田内陸線小ヶ田駅の西約0.4kmに位置し、米代川と平行して西流する小猿部川左岸に形成された標高44～45mの平坦な台地上に立地する。この台地の東と北は急斜面、南と西は周囲の水田面より一段高く、中世城館として周知されている。遺跡の南東約0.3kmには国指定史跡伊勢堂岱遺跡がある。

b 現況

調査対象範囲は大部分が杉林を中心とする山林で、杉の立木が混んでいる。調査区中央付近と東側斜面は雑木林で、立木が伐採されずに残っている。調査区北側の一部は畑地として利用され、東側と西側で農道が南北に遺跡を横断している。

7 確認調査の方法

調査は、幅1mのトレンチを東西に延びるセンターラインに沿って1本(長さ155m)、センター杭を中心にして南北に延びるトレンチ(長さ35～100m)を10本、30～40mの長さで東西方向に2本、合計13本を設定した。一部の畑地は重機で、杉林は人力でトレンチを掘削し、遺構・遺物の有無を確認した。確認調査における実質調査面積は800㎡で、確認調査対象面積(12,100㎡)の約6.6%に相当する。

8 確認調査の結果

a 層序

基本層序

- 第Ⅰa層 黒褐色(10YR2/3)シルト 締まり中 粘性中 層厚10～15cm 表土
- 第Ⅰb層 黒褐色(10YR2/3)シルト 締まり弱 粘性弱 黄褐色土塊小～中20%混入 層厚30～60cm 耕作土
- 第Ⅰc層 黒褐色(10YR2/3)～暗褐色(10YR3/3)シルト 締まり強 粘性弱 黄褐色土塊中～大10%混入 層厚50cm 農道造成に伴う盛土
- 第Ⅱ層 黒色(10YR2/1)～黒褐色(10YR2/3)シルト 締まり中 粘性弱 層厚30～70cm 遺物包含層
- 第Ⅲ層 暗褐色(10YR3/4)シルト 締まり中 粘性中 層厚15～20cm 地山漸移層
- 第Ⅳ層 黄褐色(10YR5/6)～灰黄褐色(10YR5/2)粘質土 締まり強 粘性強 地山

遺跡内の基本土層は大別すると4層である。第Ⅰ層は耕作土を含む表土及び農道造成に伴う盛土である。調査区北側の畑地は耕作により第Ⅳ層地山まで攪乱されている。第Ⅱ層は遺物包含層である。

第Ⅱ層は、主として調査区東側と西側の杉林において層厚30～70cmで確認できる。遺構は、表土から30～40cmの第Ⅱ層上位～中位と第Ⅳ層地山直上の二面で確認できる。

b 検出遺構と出土遺物

13か所のトレンチから遺構・遺物が確認され、調査区東端斜面を除く調査対象範囲の大部分が遺跡であることを確認した。調査区西側の第2トレンチで土坑1基、第1・3トレンチの交点付近で柱穴様ピット群を検出した。この付近では縄文時代の掘立柱建物跡が分布する可能性が高い。調査区中央部の第5トレンチ北端で縄文土器片、被熱した複数の礫、剥片石器、焼土を伴う竪穴状遺構を検出した。調査区東側においては、第7トレンチ南側で壁溝を伴う竪穴建物跡、その周辺から柱穴様ピット群及び土師器片を確認した。第13トレンチ西側では縄文土器を伴う竪穴状遺構、その周辺から柱穴様ピット群を検出し、第9・13トレンチの交点付近から縄文土器片が集中して出土する箇所を確認した。第12トレンチ南側では縄文土器を伴う竪穴状遺構、北端では集石遺構を検出した。

9 所見

a 遺跡の種類

検出遺構と出土遺物から、縄文時代後期及び平安時代の集落跡と推定される。

b 遺跡の範囲と工事区域

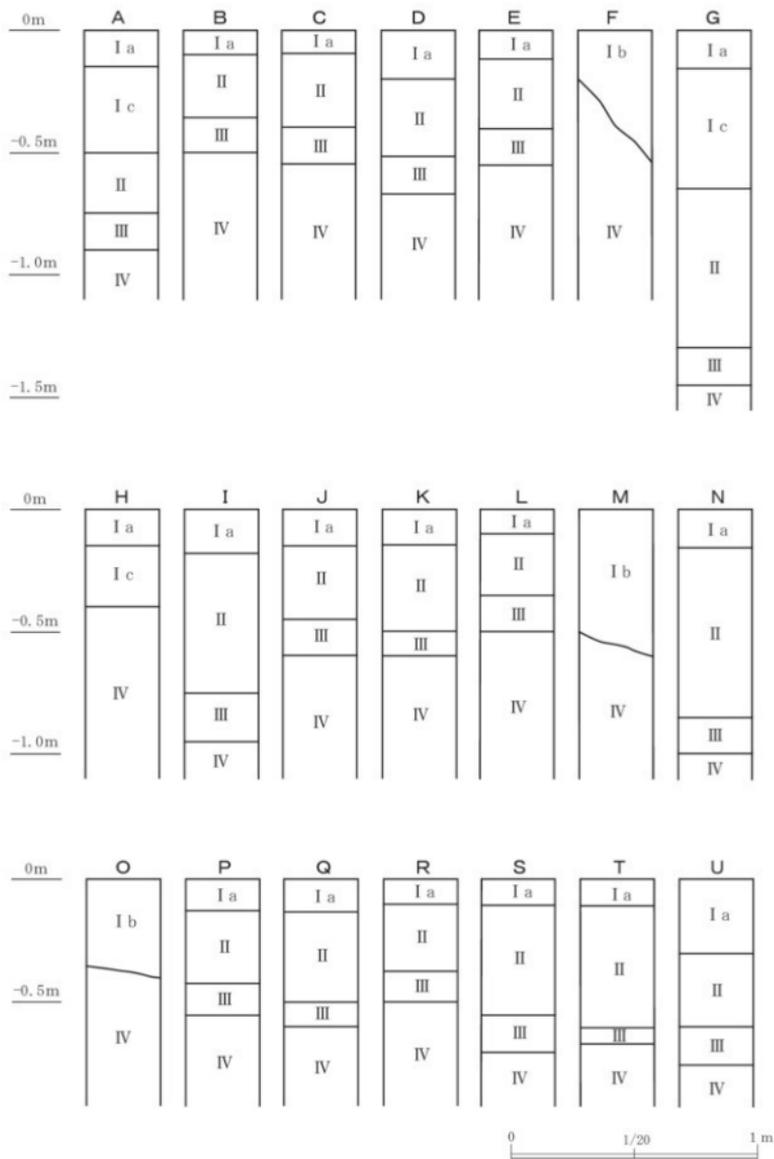
遺跡の広がりや、周囲の水田面よりも高い平坦な台地上のほぼ全域にわたると考えられる。本発掘調査が必要な範囲は東端斜面を除く11,000㎡である。

c 発掘調査時に予想される遺構・遺物

遺構は縄文時代の竪穴建物跡、掘立柱建物跡、竪穴状遺構、土坑、集石遺構、平安時代の竪穴建物跡、掘立柱建物跡、土坑、溝跡等が検出されると予想される。遺物は縄文土器、石器、土師器、須恵器が中コンテナで60箱程度出土すると予想される。



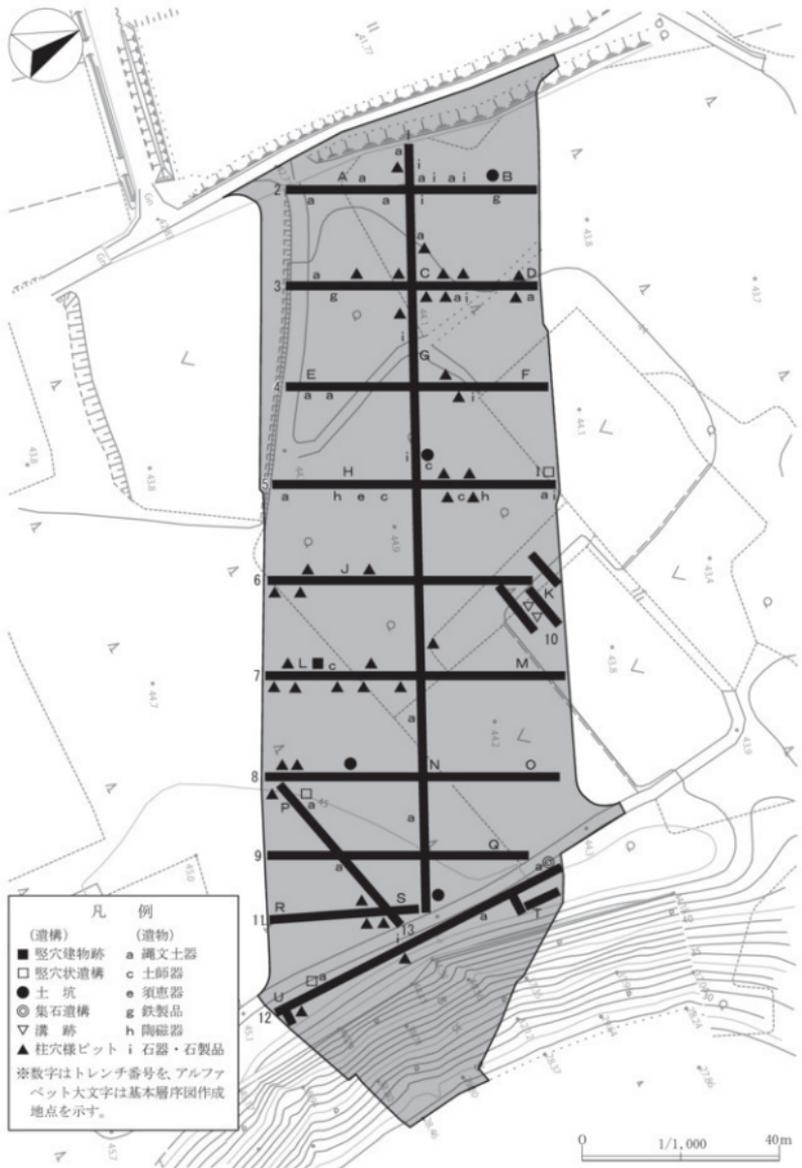
第34図 小勝田館跡位置図



第35図 小勝田館跡基本層序図



第36図 小勝田館跡推定範囲図



第37図 小勝田館跡確認調査結果図



第38図 小勝田館跡要本発掘調査範囲図

第7トレンチ
竪穴建物跡検出状況
(北から)



第5トレンチ
竪穴状遺構検出状況
(南から)



第13トレンチ
縄文土器出土状況
(南から)



秋田県文化財調査報告書第491集
遺跡詳細分布調査報告書

印刷・発行 平成26年3月
編 集 秋田県埋蔵文化財センター
〒014-0802 秋田県大仙市弘田字牛嶋20番地
電話 (0187)69-3331
FAX (0187)69-3330
発 行 秋田県教育委員会
〒010-8580 秋田市山王三丁目1番1号
電話 (018)860-5193

